

掲示板

「汚れた霊よ。この人から出て行け」

(マルコ 5:8)

・誕生日おめでとう！

10月にお生まれの方、おめでとうございます！

教会で配布される週報には、お名前を記させていただきお祝いしておりますが、WEB版のこの週報では、プライバシーに配慮し記名などは避けさせていただいております。

・連絡事項

I. 礼拝は午前11時から12時まで行われます。感染予防のため、入り口での消毒、マスク着用、教会近隣への配慮のため立ち話しは控え、礼拝終了後は静かにお帰り下さい。その他の詳細ルールは教会で配布します。ご理解とご協力をお願いします。

・祈り

病に苦しむ兄弟姉妹に神の癒しと平安がありますように
危機にある世界が戦争やコロナウイルスから守られますように。
備えられる教会、神に備えられる信仰者にしてください。
人々がイエス・キリストの御名を信じて救われますように。
信仰の創始者、完成者であるイエスから目を離さないように。
教会の交わりが互いに愛し合うものとなりますように。
この主イエス様の愛を人々に伝える者としてください。
小さないのちの健康と成長、学びが守られますように。
今後の教会の礼拝が守られ、祝福されますように。

葛西福音キリスト教会週報

2022年10月2日(日) 第448回主日礼拝

牧師 松山公要(WEB版)

「神は、みこころのままに、

あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、
事を行わせてくださるのです。」

(ピリピ人への手紙2章13節)

礼拝 次第

黙 禱		一 同
賛 美	172「望みも消え行くまでに」	
使徒信条		
主の祈り		
祈 禱		司会者
聖書朗読	「マルコ 5:1-20」	司会者
説 教	「悪霊につかれた人」	牧 師
祈 り		
賛 美	431「主と」	一 同
献 金		
感謝祈禱		指名者
頌 栄	63「父 御子 御霊の」	一 同
祝 禱		牧 師
報 告		司会者

聖書のお話し「悪霊につかれた人」

序) はじめに

昨日ようやく復旧した福島県と新潟県を結ぶJR 只見線の始発列車が、途中で故障してしまい4時間後に復旧しましたが、イベントも中止となり残念でした。只見線は過去年間三億円の赤字を出していたのです。そのような中、豪雨被害でその復旧も自力ではできない状態でした。しかし6年の議論と4年の復旧工事後、地域の力で復旧しました。それは赤字覚悟の復旧の決断だったわけです。地域の人々は只見線の価値にかけたわけです。同じく教会会計も中々難しいものですが、信仰を持って礼拝と伝道、献金に励みましょう。

先日でも話しましたが、マタイは靈感されて聖書をテーマ別に整理してまとめて記述しているとされます。マルコも、マタイほどではありませんが4:1-34にはたとえ話を、4:34-5:43には奇跡の記事をまとめています。そして本日はその中の「悪霊につかれた人」の奇跡です。

皆さんは、悪霊がいることを知っておられるでしょうか。「そんなものは、人間が考え出したものだ」という人もいるかもしれません。確かに幽霊は人間が考え出したものですが、聖書は悪霊が実際に存在することを私たちに教え、警告します。しかし、怖がったり、心配することはありません。イエス様の十字架と復活は、私たちに信仰の勝利を保証しますから。

本論)「悪霊につかれた人」

I. 「悪霊につかれた人」

あるとき、イエス様は舟でガリラヤ湖の向こう岸、ゲラサ地方に渡られました。そこは、異邦人が主に住む地域と考えられています。それは家畜で豚を飼っていたことからとされます。「豚」はユダヤ人にとって汚れた動物であったからです(レビ 11:7、申命記 14:8)。イエス様が舟から上がられると突然、一人の男がイエス様のところにやって来ました。その人は墓場に住みつき、大声で人々を怖がらせるばかりか、石で自分の体も傷つけていました。人は悪霊につかれると他人に恐怖を与えるのみか、自分自身をも傷つけるのですね。それで人々は何度か彼を鎖でつなぎ、足かせをつけて押さえつけようとしませんが(完了)、くさりを引きちぎり足かせを壊しました(完了)。おそらく地域の人々の手には負えない状態であり、人々は人の力がいかに無力であるかを経験していたのでした。

なぜ、そのような状態なのでしょう。それは彼が悪霊につかれていたからでし

た。そしてイエス様が名を尋ねられると「レギオン」と答えました。レギオンとは大勢の意味で、数多くの悪霊に支配されていることを意味しました。

II. 「悪霊からの救い」

イエス様は、この人に取りついている悪霊を追い出すために言われました。「汚れた霊よ、この人から出て行け」と。ところが悪霊は、「どうか追い出さないでください」とイエス様に頼み続けました。そして「どうしても追い出さずなら、豚の群れの中に入れてください」と願いました。その地域にはたくさんの豚が飼われていたからでした。イエス様がお許しになると、悪霊は男の人から出て、豚の群れの中に入りました。すると豚の群れはみな湖に入り死んでしまいました。

人々は、悪霊の支配から解放された人の状態を見て恐れを抱いたと聖書にはあります。ここであの悪霊につかれた人が、まるで別人のように「着物を着て」「正気に返って」「すわっている」(分詞)ことが信じられない思いで目が離せず、人々は恐ろしくなったのです。まさに「人にはできないことですが、神は、そうではありません。どんなことでも、神にはできる」(マルコ 10:27)というイエス様のことばは真実なのです。

しかし、残念なことに人々は、自分に理解できないことに恐れを抱いたのでした。この悪霊の支配から解放された人は、イエス様につき従うことを願いましたが、別の使命を言い渡されます。それは故郷に帰り、自分の家族(友人含む)に神様の奇跡を証することでした。

III. 「今の時代の悪霊の働き」

悪霊は、今の時代も働いています。世の終わりが近づいている今の時代こそ、悪霊がいっそう活発に働いています。悪霊は、私たちの身近なところで働き、私たちを神様から遠ざけようとします。友人が占いやおまじないをしているのを見かけることもあるでしょう。占いやおまじないは悪霊が働く場であり時となります。自分はやらないとしても、友人がやっているところに一緒にいるだけで、悪霊はあなたにも影響を与えることもあるでしょう。また、オカルト系の映画や本も避けた方が良くと思います。そこを入り口にして、悪霊があなたを支配するかもしれないからです。

勧め)「悪霊につかれた人」

イエス様は神の子であり、その十字架と復活を通して、悪魔や悪霊に完全に勝利されたお方です。ですから、イエス様を信じ、みことばに従い、悪霊の力の影響から守っていただきましょう。